

# 診療部

## 【腎臓内科】

### 『学会』

- |                       |        |  |
|-----------------------|--------|--|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第119回千葉県腎疾患懇話会<br>日 : 2013年4月5日<br>所 : ホテルポートプラザちば<br>題 : 当院で経験した若年発症ANCA関連腎炎の3例について<br>者 : 田中 宏明  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第110回日本内科学会総会<br>日 : 2013年4月12日-14日<br>所 : 東京国際フォーラム<br>題 : 透析導入後の血管石灰化予防には炭酸カルシウム投与量、早期からの厳格なPTH管理が重要である<br>者 : 藤井 隆之、篠崎 みずき、田中 宏明、鈴木 理志  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第56回日本腎臓学会総会<br>日 : 2013年5月10日-12日<br>所 : 東京国際フォーラム<br>題 : IgA腎症の予後予測は診断3年後の尿所見が最も有用である<br>者 : 藤井 隆之、鈴木 理志、篠崎 みずき、田中 宏明、山縣 邦弘  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : ERA-EDTA 50th congress<br>日 : 2013年5月18日-21日<br>所 : Istanbul, Turkey<br>題 : KDIGO-RECOMMENDED PTH LEVEL ACCELERATES AORTIC CALCIFICATION IN PATIENTS NEW TO HEMODIALYSIS<br>者 : TAKAYUKI FUJII, Satoshi Suzuki, Mizuki Shinozaki, Hiroaki Tanaka |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第58回日本透析医学会学術集会・総会<br>日 : 2013年6月20日-23日<br>所 : 福岡<br>題 : 透析導入後の血管石灰化予防には炭酸カルシウム投与量、早期からの厳格なPTH管理が重要である<br>者 : 藤井 隆之、篠崎 みずき、田中 宏明、鈴木 理志  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第58回日本透析医学会学術集会・総会<br>日 : 2013年6月20日-23日<br>所 : 福岡<br>題 : 発熱と炎症反応陽性にて発見された血液透析患者における胸部大動脈解離の一例<br>者 : 田中 宏明、藤井 隆之、篠崎 みずき、鈴木 理志   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第3回北総心不全治療研究会<br>日 : 2013年7月9日<br>所 : ウィンストンホテル・ユーカリ<br>題 : 当院におけるサムスカ使用経験<br>者 : 田中 宏明  |

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第40回千葉県腎セミナー 日 : 2013年7月12日 所 : 京成ホテルミラマーレ 題 : 当院内科34年間の腎生検例を少しまとめてみました 者 : 鈴木 理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第6回東千葉CRASフォーラム 日 : 2013年10月3日 所 : 成田エクセルホテル東急 題 : 心・腎・貧血のクロストークとその臨床 者 : 鈴木 理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第43回日本腎臓学会東部学術大会 日 : 2013年10月4日 所 : グランドプリンスホテル新高輪 題 : 当院で経験した若年発症ANCA関連血管炎の3症例 者 : 田中 宏明、藤井 隆之、篠崎 みずき、鈴木 理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 佐倉CKD-MBDセミナー 日 : 2013年10月17日 所 : ウィンチェトンホテル・ユーカリ 題 : 血管石灰化の観点からみた透析導入期のCKD-MBD管理について の検討 者 : 藤井 隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第41回千葉県透析研究会 日 : 2013年12月1日 所 : かずきアカデミアパーク 題 : 血管石灰化の観点からみた透析導入期からのCKD-MBD管理につ いての検討 者 : 藤井 隆之、篠崎 みずき、田中 宏明、鈴木 理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第3回臨床懇話会 in 佐倉 日 : 2014年2月26日 所 : ウィンチェトンホテル・ユーカリ 題 : 日常診療に潜むANCA関連血管炎-その病態と顛末- 者 : 田中 宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉CKDセミナー 日 : 2014年2月28日 所 : 千葉グリーンタワーホテル 題 : 薬剤性腎障害の現状 者 : 藤井 隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 日本内科学会第604回関東地方会 日 : 2014年3月8日 所 : 日内会館 題 : 家族性偽高カリウム血症の一例 者 : 篠崎 みずき

## 『講演』

- |                     |                  |                            |   |
|---------------------|------------------|----------------------------|---|
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第4回成田地区循環器研究会<br>: 2013年10月29日<br>: ヒルトン成田<br>: CKD診療の分水嶺<br>: 鈴木 理志          |
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第6回脳心腎地域医療連携会<br>: 2014年2月27日<br>: ヒューマンプラザ黄鶴<br>: 本音で話すCKDのウソ・ホント<br>: 鈴木 理志 |

## 【消化器内科】

### 『講義』

- |                     |                  |                       |  |
|---------------------|------------------|-----------------------|--|
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 義<br>催<br>演<br>演 | 名<br>日<br>所<br>題<br>者 | : 第82回NST運営会議<br>: 2013年8月13日<br>: 医局会議室<br>: 肝臓と血糖調節<br>: 住吉 良太 |
|---------------------|------------------|-----------------------|--|

### 『講演』

- |                     |                  |                            |  |
|---------------------|------------------|----------------------------|--|
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第2回臨床懇話会in佐倉<br>: 2013年7月17日<br>: ウィンストンホテル・ユーカリ<br>: C型肝炎治療の最新トピックス（短報）<br>: 佐藤 慎一          |
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第2回臨床懇話会in佐倉<br>: 2013年7月17日<br>: ウィンストンホテル・ユーカリ<br>: 悪性胃十二指腸狭窄に対する内視鏡的ステント留置術の検討<br>: 齊藤 将喜 |
| 講演<br>開場<br>場<br>講演 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>名<br>日<br>所<br>名<br>者 | : 第3回臨床懇話会in佐倉<br>: 2014年2月26日<br>: ウィンストンホテル・ユーカリ<br>: 速報-C型肝炎最新治療薬の使用経験<br>: 佐藤 慎一           |

## 【緩和医療科】

### 『学会』

学 会 名 : 第18回日本緩和医療学会学術集会  
開 催 日 : 2013年6月21日-22日  
場 所 : パシフィコ横浜  
演 題 : 血液透析導入中のがん患者におけるオキシコドン血中濃度と疼痛の関連に関する検討  
演 者 : 村上 敏史、戸来 瑞希、久保田 亨、赤木 徹、上園 保仁、国分 秀也、的場 元弘

### 『講義』

講 義 名 : 平成25年度 がん終末期における緩和ケア (疼痛編)  
開 催 日 : 2013年10月29日  
場 所 : 公益社団法人 日本看護協会 神戸研修センター  
演 題 : がん患者にみられる疼痛 (痛み)  
演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 第5回千葉大学緩和ケア研修会  
開 催 日 : 2013年12月7日  
場 所 : 千葉大学医学部附属病院  
演 題 : オピオイドを開始するとき  
演 者 : 村上敏史

講 義 名 : 平成25年度千葉県緩和ケア研修会  
開 催 日 : 2014年3月15日  
場 所 : 千葉県がんセンター  
演 題 : がん性疼痛概論 がん疼痛の評価と治療  
演 者 : 村上 敏史

### 『講演』

講 演 会 名 : 社内勉強会  
開 催 日 : 2013年9月19日  
場 所 : 大鵬薬品工業株式会社 千葉支店  
講 演 名 : 医療用麻薬の使用実態について  
講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : がん疼痛治療講演会  
開 催 日 : 2013年11月14日  
場 所 : ヒルトン成田  
講 演 名 : 化学療法継続とオピオイド導入のタイミング  
講 演 者 : 村上 敏史 (座長)、長島 誠

講 演 会 名 : 医薬情報担当者勉強会  
開 催 日 : 2013年12月5日  
場 所 : クロスウェーブ船橋  
講 演 名 : 緩和医療におけるアセトアミノフェンの位置付けと注射剤 (アセリオ) の有用性  
講 演 者 : 村上 敏史

講演会名 : 第12回印旛郡緩和ケアネットワークフォーラム  
開催日 : 2014年1月23日  
場所 : ウィッシュトンホテルユーカリ  
講演名 : がん性疼痛緩和について  
講演者 : 村上 敏史 (世話人として参加)

## 『論文』

雑誌名 : Palliative Care Research  
題名 : 在宅医療におけるがん疼痛治療の評価と治療の実態について  
著者 : 村上 敏史、岩瀬 哲、西川 満則、的場 元弘  
巻、ページ、年 : Vol. 8、No. 1、p. 158-167、2013

雑誌名 : Journal of Palliative Care & Medicine  
題名 : Pain Management for Urological Cancer Patients in Palliative Care  
著者 : Hisaharu Oya, Masahiko Koike, Naoki Iwata, Daisuke Kobayashi, Motohiro Matoba, Satoshi Murakami, et al  
巻、ページ、年 : Vol. 3、No. 6、p. 168-175、2013

## 【小児科】

### 『学会』

- |                       |        |  |
|-----------------------|--------|--|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第116回日本小児科学会総会<br>日 : 2013年4月19日-21日<br>所 : 広島国際会議場<br>題 : 側弯症患者（児）における腎尿路奇形と腎機能の評価<br>者 : 鈴木 繁                                    |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第195回日本小児科学会千葉地方会<br>日 : 2013年6月9日<br>所 : 千葉大学附属病院 講堂<br>題 : 岩手県気仙地区における小児医療支援の経験（震災2ヶ月後）<br>者 : 森 一越                              |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第195回日本小児科学会千葉地方会<br>日 : 2013年6月9日<br>所 : 千葉大学附属病院 講堂<br>題 : Henoch-Schonleins紫斑病に対するDiamino-Diphenyl-Sulfone<br>の使用経験<br>者 : 森 一越 |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第195回日本小児科学会千葉地方会<br>日 : 2013年6月9日<br>所 : 千葉大学附属病院 講堂<br>題 : 岩手県気仙地区における小児医療支援の経験（震災2年後）<br>者 : 藤巻 元                               |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第2回日本小児診療多職種研究会<br>日 : 2013年7月6日-7日<br>所 : 八戸グランドホテル<br>題 : 岩手県気仙地区における小児医療支援の経験<br>者 : 藤巻 元                                       |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第47回日本側弯学会<br>日 : 2013年10月23日-24日<br>所 : ザ・クラウンパレス新阪急高知<br>題 : 側弯症における腎尿路評価<br>者 : 鈴木 繁、森 一越、藤巻 元、川村 研、小谷 俊明、<br>赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第35回小児腎不全学会<br>日 : 2013年10月24日-25日<br>所 : 磐梯熱海温泉 華の湯ホテル<br>題 : 診断および治療に苦慮している尿路感染症の一例<br>者 : 森 一越                                  |

### 『講義』

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 義<br>催 | 名 : 小児科講義<br>日 : 2013年6月<br>所 : 医局会議室<br>題 : 小児の腎生検<br>者 : 森 一越 |
|-----------------------|--------|---|

講 開 場 演 演	義 催	名 : トリアージ勉強会 日 : 2013年7月、9月 所 : 6階会議室 題 : トリアージの実際 者 : 鈴木 繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : 小児科講義 日 : 2013年12月 所 : 医局会議室 題 : アトピー性皮膚炎 者 : 鈴木 繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : 小児科講義 日 : 2014年1月 所 : 医局会議室 題 : 食物アレルギー (総論・診断・治療) 者 : 鈴木 繁
講 開 場 演 演	義 催	名 : 小児科講義 日 : 2014年3月 所 : 健診センター会議室 題 : 小児の腹膜透析 者 : 森 一越

## 『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 低身長講演会 日 : 2013年6月 所 : 志津公民館 会議室 名 : こどもの低身長について 者 : 川村 研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 佐倉市講演会 日 : 2013年10月 所 : 佐倉保健所講堂 名 : 低身長の見かた 者 : 川村 研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 市川市医師会講演会 日 : 2013年10月 所 : 市川市医師会館 会議室 名 : 学校検尿「何をどう見るか」 者 : 川村 研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 印旛市郡学童検診結果報告会 日 : 2013年11月 所 : 印西イオンホール 名 : 学校検尿の実際 者 : 川村 研
講 開 場 講 講	演 催 演 演	名 : 佐倉市講演会 日 : 2013年11月 所 : 佐倉保健所講堂 名 : 成長ホルモン治療中の方へ (その使い方と副作用) 者 : 川村 研

講演会名 : 成田市医師会講演会  
開催日 : 2013年11月  
場所 : 成田市医師会館 会議室  
講演名 : 小児尿路感染症と腎尿路奇形  
講演者 : 川村 研

## 『論文』

雑誌名 : Japanese Journal of Pediatrics  
題名 : 1歳6カ月健診における腎臓超音波によるCACUTスクリーニング  
著者 : 鈴木 繁  
巻、ページ、年度 : 66:719-723, 2013

雑誌名 : Japanese Journal of Pediatrics  
題名 : アトモキセチン服用により寛解したADHD合併線維筋痛症の1例  
著者 : 森 一越  
巻、ページ、年度 : 62 (7) : 1679-1684, 2013

雑誌名 : Japanese Journal of Pediatrics  
題名 : Henoch-Schonleins紫斑病に対するDiamino-Diphenyl-Sulfoneの使用経験  
著者 : 森 一越  
巻、ページ、年度 : 67 (1) : 81-85, 2014

## 『その他』

震災支援  
日付 : 2013年4月  
場所 : 石巻夜間急患センター  
氏名 : 鈴木 繁

震災支援  
日付 : 2013年5月  
場所 : 岩手県立大船渡病院、高田病院  
氏名 : 森 一越

アレルギー研修  
日付 : 2013年9月  
場所 : 成育医療センター生体防御系内科部 アレルギー科  
氏名 : 鈴木 繁

分担著書  
日付 : 2013年10月  
雑誌名 : エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2013  
著者 : 森 一越



## 【外科】 『学会』

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第25回日本肝胆膵外科学会・学術集会<br>日 : 2013年6月12日<br>所 : ホテル東日本宇都宮 (宇都宮)<br>題 : 血液透析導入中腎不全患者の門脈腫瘍栓を有する肝細胞癌に対する拡大肝右葉切除術<br>者 : 小池 直人、大島 祐二  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第68回千葉県外科医会<br>日 : 2013年7月6日<br>所 : ホテルニューツカモト (千葉)<br>題 : 血液透析導入中の直腸癌多発肝転移に対する治療経験<br>者 : 武内 俊章、小池 直人、大島 祐二、安達 憲一郎、久保田 亨、有田 誠司   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第68回日本消化器外科学会総会<br>日 : 2013年7月17日<br>所 : 宮崎シーガイアコンベンションセンター (宮崎)<br>題 : 直腸癌術後化学療法中に多発肝腫瘍として発症し、肝切除が施行されたPeliosis hepatisの症例<br>者 : 大島 祐二、小池 直人、武内 俊章、久保田 亨、有田 誠司  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第68回日本消化器外科学会総会<br>日 : 2013年7月17日<br>所 : 宮崎シーガイアコンベンションセンター (宮崎)<br>題 : 当院における大腸癌肝転移に対する肝切除例の再検討<br>者 : 小池 直人、大島 祐二、武内 俊章、久保田 亨、有田 誠司   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : International Surgical Week 2013<br>日 : 2013年8月25-29日<br>所 : ヘルシンキ (フィンランド)<br>題 : Evaluation of outcomes after hepatectomy for colorectal liver metastases at our institute<br>者 : Naoto Koike, Yuji Ohshima, Seiji Arita, Toshiaki Takeuchi, Eiji Shinozaki |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : JDDW 2013<br>日 : 2013年10月9日<br>所 : 品川プリンスホテル (東京)<br>題 : 腹部腫瘍の診断におけるDWIBSの有用性の検討<br>者 : 富澤 稔、篠崎 文信、小池 直人、長谷川 留魅子、白井 芳則、一木 昇、小崎 愛花、馬場 啓、深水 良哉、松永 太、杉山 隆夫、山本 重則、末石 眞、吉田 孝宣  |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第69回千葉県外科医会<br>日 : 2013年11月1日<br>所 : ホテルニューツカモト (千葉)<br>題 : 大腸癌と鑑別が困難であった回盲部腸炎・腸間膜リンパ節炎の1切除例<br>者 : 安達 憲一郎、小池 直人、大島 祐二、武内 俊章、久保田 亨、有田 誠司、河上 牧夫  |

学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉肝胆膵外科フォーラム 日 : 2013年11月9日 所 : 東京ベイ幕張ホール (千葉) 題 : 膵頭十二指腸切除術におけるIVRを用いた2期的膵空腸吻合術の経験 者 : 大島 祐二、小池 直人、武内 俊章、安達 憲一郎、久保田 亨、有田 誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第10回がんワクチン療法研究会学術集会 日 : 2013年11月9日 所 : フクラシア東京ステーション (東京) 題 : 当院における自家がんワクチンの施行症例の再検討 者 : 小池 直人、眞崎 義隆
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第40回日本臓器保存生物医学会 日 : 2013年11月9日 所 : 東京医科大学病院臨床講堂 題 : ヒト微小血管網を有する膵島様組織の創出 者 : 江野村 允宏、武部 貴則、高橋 禎暢、田中 博康、小池 直人、関根 圭輔、谷口 英樹
学 開 場 演 演	会 催	名 : 日本臨床外科学会第75回総会 日 : 2013年11月22日 所 : 名古屋国際会議場 (名古屋) 題 : 慢性腎不全を合併する直腸癌術後患者に対する化学療法の実例 者 : 武内 俊章、小池 直人、有田 誠司、大島 祐二、安達 憲一郎、大河内 信弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1274回千葉医学会例会平成25年度先端応用外科学例会 日 : 2013年12月14日 所 : 千葉大学医学部附属病院第一講堂 題 : 大腸癌と鑑別が困難であった回盲部腸炎・腸間膜リンパ節炎の1切除例 者 : 安達 憲一郎、小池 直人、大島 祐二、武内 俊章、久保田 亨、有田 誠司、河上 牧夫
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1274回千葉医学会例会平成25年度先端応用外科学例会 日 : 2013年12月15日 所 : 千葉大学医学部附属病院第一講堂 題 : 当院における大腸癌肝転移の治療成績 者 : 有田 誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第70回千葉県外科医会 日 : 2014年3月1日 所 : ホテルニューツカモト (千葉) 題 : 大腸癌肝転移切除例における化学療法の意義 者 : 小池 直人、大島 祐二、武内 俊章、安達 憲一郎、久保田 亨、有田 誠司

## 『講 義』

講 義 名 : 高知大学医学部6年生外科学講義  
開 催 日 : 2013年9月13日  
場 所 : 高知大学医学部第一講堂  
演 題 : 移植・再生医療のup-to-date  
演 者 : 有田 誠司

講 義 名 : 日本医薬品卸勤務薬剤師会千葉支部研修会講義  
開 催 日 : 2013年10月22日  
場 所 : 生涯学習センター、千葉  
演 題 : 腎移植の話題～免疫抑制剤のup-to-date  
演 者 : 有田 誠司

講 義 名 : 大腸癌化学療法勉強会  
開 催 日 : 2014年2月19日  
場 所 : ポートサイドタワー19F (千葉)  
演 題 : 大腸癌化学療法勉強会  
演 者 : 小池 直人

## 『講 演』

講 演 会 名 : 佐倉四街道地区消化器病検討会  
開 催 日 : 2014年3月18日  
場 所 : 佐倉市健康管理センター (佐倉)  
講 演 名 : 大腸癌の組織発生と検診の意義 一当院治療例からの検討一  
講 演 者 : 小池 直人

## 『論 文』

雑 誌 名 : 日本外科系連合学会誌  
題 名 : HALSにより脾温存脾体尾部切除術を行った脾体部嚢胞性腫瘍の1例  
著 者 : 大島 祐二、小池 直人、河上 牧夫  
巻、ページ、年度 : 38巻6号1270-1274, 2013

雑 誌 名 : 癌と化学療法  
題 名 : FOLFOX療法後の脾腫に伴う血小板減少に対し腹腔鏡下脾摘術が奏効した進行直腸癌の1例  
著 者 : 小池 直人、大島 祐二、武内 俊章、有田 誠司、篠崎 英司  
巻、ページ、年度 : 40巻6号815-817, 2013

雑 誌 名 : Nature  
題 名 : Vascularized and functional human liver from an iPSC-derived organ bud transplant  
著 者 : Takebe T, Sekine K, Enomura M, Koike H, Kimura M, Ogaeri T, Zhang RR, Ueno Y, Zheng YW, Koike N, Aoyama S, Adachi Y, Taniguchi H  
巻、ページ、年度 : 499(7459) 481-485, 2013

雑 誌 名 : Organogenesis  
題 名 : Engineering of human hepatic tissue with functional vascular networks  
著 者 : Takebe T, Koike N, Sekine K, Fujiwara R, Amiya T, Zheng YW, Taniguchi H  
巻、ページ、年度 : 10(2), 2014

雑誌名 : Nature Protocol  
題名 : Generation of a vascularized and functional human liver  
from an iPSC-derived organ bud transplant  
著者 : Takebe T, Zhang RR, Koike H, Kimura M, Yoshizawa E,  
Enomura M, Koike N, Sekine K, Taniguchi H  
巻、ページ、年度 : 9(2) 396-409, 2014

## 『その他』

第54回日本人間ドック学会 (座長)

日付 : 2013年9月30日  
場所 : アクトシティー浜松  
題名 : セッション 生活習慣病2  
氏名 : 有田 誠司

第69回千葉県外科医会 (座長)

日付 : 2013年11月1日  
場所 : ホテルニューツカモト (千葉)  
題名 : Session III  
氏名 : 小池 直人

第10回がんワクチン療法研究会学術集会 (座長)

日付 : 2013年11月9日  
場所 : フクラシア東京ステーション (東京)  
題名 : セッション2 : がんワクチン療法における著効例の検討  
氏名 : 小池 直人

佐倉四街道地区消化器病検討会特別講演会 (座長)

日付 : 2013年11月14日  
場所 : ウィッシュトンホテル (佐倉)  
題名 : H. pylori診療の最前線-2013年の変革 (国立国際医療研究センター理事・国府台病院長 上村直実先生)  
氏名 : 小池 直人

第8回クリニカルパス講演会、特別講演会 (座長)

日付 : 2014年2月28日  
場所 : 聖隷佐倉市民病院6階講堂 (佐倉)  
題名 : クリニカルパスのきほんのき東日本大震災における岩手県内  
陸部県立病院の対応 (医療情報を中心として) (岩手県立高  
田病院院長 田畑潔先生)  
氏名 : 小池 直人

## 【乳腺外科】

### 『学会』

- |                       |        |   |
|-----------------------|--------|---|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第21回日本乳癌学会総会<br>日 : 2013年6月27日-29日<br>所 : 名古屋<br>題 : エリブリン抵抗性転移性乳癌・癌性腹水に対してフルベスト<br>ラントが有効であった1例<br>者 : 川島 太一、黒野 健司、河上 牧夫、有田 誠司、成毛 育恵 |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第51回日本癌治療学会学術集会<br>日 : 2013年10月24日-26日<br>所 : 京都<br>題 : 高度リンパ管侵襲により鑑胸壁化乳房を来し治療に難渋したS<br>状結腸癌の1例<br>者 : 川島 太一、黒野 健司、川上 浩幸、河上 牧夫        |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第51回日本癌治療学会学術集会<br>日 : 2013年10月24日-26日<br>所 : 京都<br>題 : 肺転移により両側胸水を来し治療に難渋した局所進行再発<br>乳癌の1剖検例<br>者 : 黒野 健司、川島 太一、川上 浩幸、河上 牧夫          |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第75回日本臨床外科学会総会<br>日 : 2013年11月21日-23日<br>所 : 名古屋<br>題 : PTH産生肝細胞癌により多量腹水を来し治療に難渋した肝細胞<br>癌の1剖検例<br>者 : 黒野 健司、川島 太一                    |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第75回日本臨床外科学会総会<br>日 : 2013年11月21日-23日<br>所 : 名古屋<br>題 : 術前化学療法にアバスチンを使用し奏効を確認したStage III<br>乳癌の1手術例<br>者 : 川島 太一、黒野 健司、川上 浩幸、河上 牧夫    |

## 【呼吸器外科】

### 『講演』

- |                       |                  |        |   |
|-----------------------|------------------|--------|---|
| 講<br>開<br>場<br>講<br>講 | 演<br>催<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第2回佐倉市病診連携呼吸器疾患懇話会<br>日 : 2013年7月11日<br>所 : ウィシュトンホテル・ユーカリ<br>名 : 聖隷佐倉市民病院の連携システムの現状報告<br>者 : 眞崎 義隆 |
|-----------------------|------------------|--------|---|

## 【整形外科】

### 『学会』

- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 0-arm based Navigation 下に刺入したCortical bone trajectory 法の刺入位置及び角度の検討  
演 者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、根本 哲治、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 早期発症側弯症患者における手術による頸椎アライメントの変化  
演 者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 思春期特発性側奇症患者における術前後の頸椎アライメントの変化と相関する因子についての検討  
演 者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : Lenke type 1カーブの思春期特発性側弯症患者における術前後の頸椎アライメントの変化 -3術式間での頸椎前弯角の変化の検討  
演 者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 新しい側弯症スクリーニングシステムの構築を目指したスマートフォンアプリケーションによる側弯症検出  
演 者 : 上野 正喜、高相 晶士、小谷 俊明、齋藤 亘、井村 貴之、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平、井上 玄、新谷 りょう介、中澤 俊之、高平 尚伸
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 脊柱側弯症におけるpedicle channel分類によるスクリー入の評価 -本当にcortical channelにはスクリー入が困難か?-  
演 者 : 赤澤 努、小谷 俊明、佐久間 毅、根本 哲治、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
日 : 2013年4月25日-27日  
所 : 沖縄  
題 : 側弯症装具治療が母親と患者の心理に与える影響  
演 者 : 小谷 俊明、木村 弘美、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、佐藤 祐介、北村 充広、南 昌平

- 学 会 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
 開 催 日 : 2013年4月25日-27日  
 場 所 : 沖縄  
 演 題 : 特発性側弯症手術による乳房位置の変化  
 演 者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、飯田 睦美、長谷川 美幸、伊藤 恵美子、成毛 育恵、南 昌平
- 学 会 名 : 第42回日本脊椎脊髄病学会  
 開 催 日 : 2013年4月25日-27日  
 場 所 : 沖縄  
 演 題 : 側弯症装具治療が母親と患者の心理に与える影響  
 演 者 : 小谷 俊明、木村 弘美、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、佐藤 祐介、木村 充広、南 昌平
- 学 会 名 : TheInternational Society for the Study of the Lumbar  
 開 催 日 : 2013年5月13日-17日  
 場 所 : Scottsdale, AZ, USA  
 演 題 : Analysis ofthe S1 sacralforaminal location using a  
 演 者 : Yusuke Sato, Toshiaki Kotani, Tetsuharu Nemoto, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Mitsuhiro Kitamura, Kazuhisa Takahashi, Shohei Minami.
- 学 会 名 : TheInternational Society for the Study of the Lumbar  
 開 催 日 : 2013年5月13日-17日  
 場 所 : Scottsdale, AZ, USA  
 演 題 : Perceptions of scoliosis surgery from radiographs  
 演 者 : Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Yusuke Sato, Mitsuhiro Kitamura, Kazuhisa Takahashi, Shohei Minami
- 学 会 名 : TheInternational Society for the Study of the Lumbar  
 開 催 日 : 2013年5月13日-17日  
 場 所 : Scottsdale, AZ, USA  
 演 題 : Rod breakage afterlong constructfusion in spinal  
 演 者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Yusuke Sato, Mitsuhiro Kitamura, Shohei Minami, Seiji Ohtori, Kazuhisa Takahashi.
- 学 会 名 : 第86回日本整形外科学会学術集会  
 開 催 日 : 2013年5月23日-26日  
 場 所 : 広島  
 演 題 : Rod Fracture after Multilevel Fusion in Spinal  
 演 者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto, Yusuke Sato, Mitsuhiro Kitamura, Shohei Minami.

- 学開場演  
催演
- 会  
名 : 第50回リハビリテーション医学会  
日 : 2013年6月13日-15日  
所 : 東京  
題 : 側弯症装具治療前後の患者と母親の心理の変化  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、根本 哲治、南 昌平
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : The 20th International Meeting on Advanced Spine Techniques  
日 : 2013年7月10日-13日  
所 : Vancouver, British Columbia, Canada  
題 : Aorta Movement, Relative to the Spine, Before and After Correction in Posterior Surgery for Scoliosis: Assessment Using O-Arm Computed Tomography Imaging  
者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami.
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : The 20th International Meeting on Advanced Spine Techniques  
日 : 2013年7月10日-13日  
所 : Vancouver, British Columbia, Canada  
題 : Concurrent Roundtable Sessions Adolescent Idiopathic Scoliosis  
者 : Toshiaki Kotani
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : The 20th International Meeting on Advanced Spine Techniques  
日 : 2013年7月10日-13日  
所 : Vancouver, British Columbia, Canada  
題 : Evaluation of pedicle screw placement by pedicle channel classification in scoliosis: Is screw placement into a cortical channel really difficult?  
者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Shohei Minami.
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : 八千代佐倉地区整形外科症例検討会  
日 : 2013年7月16日  
所 : 佐倉  
題 : 足関節脱臼骨折の1例  
者 : 縄田 健斗、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、山崎 厚郎、根本 哲治、南 昌平
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : 八千代佐倉地区整形外科症例検討会  
日 : 2013年7月16日  
所 : 佐倉  
題 : 下肢痛を主訴に受診し、すぐに診断がつかなかった一症例  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平
- 学開場演  
催演
- 会  
名 : Scoliosis Research Society 48th Annual Meeting & Course  
日 : 2013年9月18日-21日  
所 : Lyon, France  
題 : Long-term Quality of Life after Early Fusion Surgery in 10-year-old or Younger Patients with Congenital Scoliosis, Assessed After a Minimum of 10 Years  
者 : Kotani T, Akazawa T, Sakuma T, Minami S



- 学開場演 会催 名 : 第15回日本骨粗鬆症学会  
日 : 2013年10月11日-13日  
所 : 大阪  
題 : Balloon kyphoplastyとテリパラチドを用いた脊椎圧迫骨折に対する地域連携パスの試み  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第28回日本整形外科学会基礎学術集会  
日 : 2013年10月17日-18日  
所 : 千葉  
題 : 三次元画像ソフトウェアによる手術支援 (脊椎)  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : Simultaneous Double Rod Rotation Techniqueによる矢状面アライメントの変化の検討 - Rod Rotationで後弯の頂椎の位置は変化するか?-  
者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 思春期特発性側弯症におけるSagittal Vertical Axisと重心動揺計を使った重心線の術後経過  
者 : 加藤木 丈英、佐野 舞子、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 側弯症患者における腎尿路評価  
者 : 鈴木 繁、森 一越、藤巻 元、川村 研、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平
- 学開場演 会催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 側弯症患者の術後疼痛管理に対する医療従事者の認識  
者 : 野崎 志乃、鍵森 由子、伊藤 美恵子、山崎 厚郎、赤澤 努
- 学開場演 会催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 側弯症の装具治療が患児と母親の心理に及ぼす影響  
者 : 木村 弘美、大崎 美奈子、市毛 江美子、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平

- 学開場演  
催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 側弯症保存療法中に合併した重度の摂食障害  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平、川村 研、鈴木 繁、木村 弘美
- 学開場演  
催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 千葉市における脊柱側弯症検診の現状と問題点  
者 : 赤澤 努、南 昌平、小谷 俊明、佐久間 毅、大塚 嘉則
- 学開場演  
催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : 特発性側弯症におけるレントゲンのパラメーターとウエストの非対称性の関係  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平、加藤木 丈英
- 学開場演  
催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : ナビゲーション使用下で脊柱側弯症のPedicule screw刺入が失敗する要因：なぜ0-armを使用しても逸脱率が0%にならないのか？  
者 : 赤澤 努、小谷 俊明、佐久間 毅、南 昌平
- 学開場演  
催 名 : 第47回日本側弯症学会  
日 : 2013年10月23日-24日  
所 : 高知  
題 : モアレポトグラフィーを模擬した輝度信号等高線加工画像“Brightness signal moire”による側弯症測定の試み  
者 : 上野 正喜、高相 晶士、齋藤 亘、井村 貴之、井上 玄、中澤 俊之、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平、高平 尚伸
- 学開場演  
催 名 : 第22回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2013年10月24日-26日  
所 : 高知  
題 : 0-arm based Navigation 下に刺入したCortical bone trajectory 法の刺入位置及び角度の検討  
者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平
- 学開場演  
催 名 : 第22回日本脊椎インストゥルメンテーション学会  
日 : 2013年10月24日-26日  
所 : 高知  
題 : Balloon kyphoplastyが呼吸機能に与える影響  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第14回日本クリニカルパス学会学術集会 日 : 2013年11月1日-2日 所 : 盛岡 題 : Balloon kyphoplastyとテリパラチドを用いた地域連携パス 者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、 山崎 厚郎、南 昌平、宮崎 木の实、濱野 恭佳、伊藤 恵美子
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第8回聖隷佐倉市民病院院内学会 日 : 2013年11月30日 所 : 佐倉 題 : Balloon Kyphoplastyにおける透視画像上の至適刺入経路：術 前CTより作成した擬似透視画像の有用性 者 : 山崎 厚郎、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、縄田 健斗、 根本 哲治、南 昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1273回千葉医学会整形外科例会 日 : 2013年11月30日-12月1日 所 : 千葉 題 : Balloon Kyphoplastyにおける透視画像上の至適刺入経路：術 前レイサム画像による擬似透視画像の有用性 者 : 山崎 厚郎、小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、縄田 健斗、 根本 哲治、南 昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第1273回千葉医学会整形外科例会 日 : 2013年11月30日-12月1日 所 : 千葉 題 : S2 alar iliac screw (S2AI) を用いた腰仙椎固定術の検討 者 : 縄田 健斗、赤澤 努、小谷 俊明、根本 哲治、佐久間 毅、 山崎 厚郎、南 昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉股関節研究会 日 : 2014年1月18日 所 : 幕張 題 : Oアームを使用した術中ナビゲーションが有用だった寛骨臼後 壁骨折の1例 者 : 山崎 厚郎、岸田 俊二、中村 順一、萩原 茂生、大前 隆則、 宮本 周一
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第2回 日本脊柱変形協会 学術会議 日 : 2014年1月25日 所 : 東京 題 : 10歳以下で早期固定手術を行った先天性側弯症患者の長期臨 床成績 10年以上経過観察を行った多施設共同研究 者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、南 昌平、川上 紀明、 辻 太一、宇野 耕吉、鈴木 哲平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第22回ちば脊椎カンファレンス 日 : 2014年2月8日 所 : 千葉 題 : Vertebroplasty vs Kyphoplasty Kyphoplastyを支持する立場 から 者 : 小谷 俊明

学開場演  
催演  
名 : 第4回日本成人脊柱変形学会  
日 : 2014年3月2日  
所 : 東京  
題 : 成人脊柱変形手術における出血量の検討  
者 : 小谷 俊明、赤澤 努、佐久間 毅、根本 哲治、縄田 健斗、山崎 厚郎、南 昌平

学開場演  
催演  
名 : 第27回自己血輸血学会  
日 : 2014年3月7日-8日  
所 : 秋田  
題 : 成人脊柱変形手術における自己血輸血の検討  
者 : 小谷 俊明、佐久間 毅、東 牧子、水野 陽子、伊藤 恵美子、南 昌平

## 『講 義』

講開場演  
催演  
名 : 千葉大学医学部学生ユニット講義  
日 : 2013年10月7日  
所 : 千葉大学医学部  
題 : 転移性脊椎腫瘍について  
者 : 小谷 俊明

## 『講 演』

講開場講  
催演  
名 : 第2回聖隷佐倉病診連携フォーラム  
日 : 2013年5月8日  
所 : 佐倉  
題 : BKP・テリボン地域連携パス開始後の経過報告  
者 : 小谷 俊明

講開場講  
催演  
名 : 松戸病診連携フォーラム  
日 : 2013年9月27日  
所 : 松戸  
題 : 脊椎圧迫骨折に対するBalloon kyphoplasty(BKP)と週1回テリ  
パラチド製剤を用いた病診連携パス  
者 : 小谷 俊明

講開場講  
催演  
名 : 千葉県整形外科医会学術集会  
日 : 2013年11月4日  
所 : 千葉  
題 : 高齢者脊椎疾患の診断と最新の治療  
者 : 小谷 俊明

講開場講  
催演  
名 : 第8回千葉・筑波脊椎手術手技講習会  
日 : 2013年11月9日  
所 : 千葉  
題 : 脊椎後方固定におけるSacropelvic Fixation: S2 Alar Iliac  
Screw刺入法について  
者 : 赤澤 努

講開場講  
催演  
名 : 印旛薬剤師フォーラム  
日 : 2014年2月28日  
所 : 佐倉  
題 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療戦略-最新の外科的治療と骨  
粗鬆症薬による医療連携  
者 : 小谷 俊明

講演会名 : テリボンWeb講演会  
 開催日 : 2014年3月4日  
 場所 : Web  
 講演者名 : BKP・テリボン地域連携パスの取り組み [医師の立場から]  
 講演者 : 小谷 俊明

講演会名 : 北信整形外科医会学術講演会  
 開催日 : 2014年3月13日  
 場所 : 長野  
 講演者名 : 骨粗鬆性椎体骨折に対する治療戦略 最新の外科的治療とPTH製剤による医療連携の有用性  
 講演者 : 小谷 俊明

## 『論文』

雑誌名 : J Pediatr Orthop B  
 雑題名 : Pseudopneumothorax in scoliosis surgery diagnosed with intraoperative O-arm computed tomography.  
 著者 : Kotani T, Akazawa T, Sakuma T, Shitara T, Sonoda M, Minami S.  
 巻、ページ、年度 : 2013 Sep;22(5):413-5.

雑誌名 : Scoliosis  
 雑題名 : Reinstrumentation for rapid curve progression after implant removal following posterior instrumented fusion in adolescent idiopathic scoliosis: a case report  
 著者 : Kotani T, Akazawa T, Lumawig J, Sakuma T, Minami S  
 巻、ページ、年度 : 2013, 8:15

雑誌名 : BMJ Case Reports  
 雑題名 : Mobile ependymoma diagnosed with cine MRI  
 著者 : Toshiaki Kotani, Akihiko Okawa, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma  
 巻、ページ、年度 : 2014 Feb 19

雑誌名 : Spine  
 雑題名 : Tumor Necrosis Factor- $\alpha$ -Immunoreactive Cells in Nucleus Pulposus in Adolescent Patients With Lumbar Disc Herniation  
 著者 : Ohtori, Seiji MD, PhD; Inoue, Gen MD, PhD; Eguchi, Yawara MD, PhD; Orita, Sumihisa MD, PhD; Takaso, Masashi MD, PhD; Ochiai, Nobuyasu MD, PhD; Kishida, Shunji MD, PhD; Kuniyoshi, Kazuki MD, PhD; Aoki, Yasuchika MD, PhD; Nakamura, Junichi MD, PhD; Ishikawa, Tetsuhiro MD; Arai, Gen MD; Miyagi, Masayuki MD; Kamoda, Hiroto MD; Suzuki, Miyako MD; Sakuma, Yoshihiro MD; Oikawa, Yasuhiro MD; Kubota, Gou MD; Inage, Kazuhide MD; Sainoh, Takeshi MD; Toyone, Tomoaki MD, PhD; Yamauchi, Kazuyo MD, PhD; Kotani, Toshiaki MD, PhD; Akazawa, Tsutomu MD, PhD; Minami, Shohei MD, PhD; Takahashi, Kazuhisa MD, PhD  
 巻、ページ、年度 : 38-6、459-462、2013

雑誌名 : 整形外科  
題名 : 脊柱変形A to Z 思春期の脊柱変形 手術治療一長期成績  
著者 : 赤澤 努、小谷 俊明、佐久間 毅、南 昌平  
巻、ページ、年度 : Vol. 64 No. 8、836-840、2013

雑誌名 : Journal of Orthopaedic Science  
題名 : Rod fracture after long construct fusion for spinal deformity: clinical and radiographic risk factors.  
著者 : Tsutomu Akazawa, Toshiaki Kotani, Tsuyoshi Sakuma, Tetsuharu Nemoto. Shoehi Minami.  
巻、ページ、年度 : Vol. 18 No. 6、926-931、2013

題名 : 側弯症治療の最前線 基礎編 (出版: 医療ジャーナル)  
著者 : 赤澤 努  
巻、ページ、年度 : 治療 長期予後、163-170、2013

雑誌名 : Journal of spine research  
題名 : Lenke type 1 カーブの思春期特発性側弯症患者の術前後の頸椎アライメントの変化-3術式間での頸椎前弯角の変化の検討  
著者 : 佐久間 毅、小谷 俊明、赤澤 努、南 昌平  
巻、ページ、年度 : J Spin Res 2013(4): 11: 1665-1669

雑誌名 : Case Rep Orthop.  
題名 : Anterolateral Corrective Lumbar Corpectomy and Interbody Fusion by Using Extended Screw Fixation without Posterior Instrumentation for Posttraumatic Kyphosis.  
著者 : Yamazaki A, Orita S, Sainoh T, Yamauchi K, Suzuki M, Sakuma Y, Kubota G, Oikawa Y, Inage K, Nakata Y, Inoue G, Aoki Y, Toyone T, Nakamura J, Miyagi M, Takahashi K, Ohtori S.  
巻、ページ、年度 : 10.1155/2013/614757. Epub 2013 Jul 18.

## 『その他』

日本脊椎脊髄病学会Asia Traveling Fellowship  
期間 : 2013/9/23-28  
訪問国 : Taipei, Taiwan  
研修施設 : National Taiwan University  
研修責任者 : Po-Quaug Chen, MD

日本脊椎脊髄病学会Asia Traveling Fellowship  
期間 : 2013/12/1-7  
訪問国 : Surabaya, Indonesia  
研修施設 : Airlangga University  
研修責任者 : Bambang Prijambodo, MD

## 【泌尿器科】

### 『学会』

- |                       |        |  |
|-----------------------|--------|--|
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第101回日本泌尿器科学会総会<br>日 : 2013年4月25日<br>所 : 札幌<br>題 : 当院における前立腺癌に対する放射線治療の試み<br>者 : 大西 哲郎   |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 8th Japan-ASEAN Conference on Men's Health and Aging<br>日 : 2013年11月8日<br>所 : 軽井沢 Hotel Marroad Karuizawa<br>題 : Radiotherapy for prostate cancer: modality, early phase complication and conservative merit for castration resistant status<br>者 : Tetsuro Onishi |
| 学<br>開<br>場<br>演<br>演 | 会<br>催 | 名 : 第100回千葉泌尿器科集談会<br>日 : 2013年12月7日<br>所 : 三井ガーデンホテル<br>題 : 前立腺癌：放射線治療早期合併症とCRPCでの局所療法に関する検討<br>者 : 大西 哲郎   |

### 『講演』

- |                       |             |   |
|-----------------------|-------------|---|
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 演<br>催<br>会 | 名 : 鹿行前立腺癌研究会<br>日 : 2013年6月14日<br>所 : 鹿島セントラルホテル<br>題 : 前立腺癌：その生物学的特性、経過観察および治療について<br>者 : 大西 哲郎                               |
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 演<br>催<br>会 | 名 : 旭化成ファーマ 社内講演会<br>日 : 2013年7月2日<br>所 : 幕張テクノガーデン<br>題 : 過活動膀胱 (over-active bladder) -診断、治療および薬物療法に際しての注意点-<br>者 : 大西 哲郎      |
| 講<br>開<br>場<br>演<br>演 | 演<br>催<br>会 | 名 : 久光製薬 医療情報提供者勉強会<br>日 : 2013年8月9日<br>所 : 久光製薬千葉営業所<br>題 : 過活動膀胱 (over-active bladder: OAB) 診断、治療および薬物療法に際しての注意点<br>者 : 大西 哲郎 |

## 【放射線治療科】

### 『学会』

学会名 : 放射線腫瘍学会 第26回学術大会  
開催日 : 2013年10月18-20日  
会場所 : 青森 ホテル青森  
講演題 : 局所高度進行乳がんに対する緩和的放射線治療の検討  
講演者 : 川上 浩幸

### 『講演』

講演会名 : 鹿行前立腺研究会  
開催日 : 2013年6月14日  
会場所 : 鹿島 鹿島セントラルホテル  
講演題 : 前立腺癌の放射線治療について  
講演者 : 川上 浩幸

講演会名 : 放射線治療を考える会  
開催日 : 2014年3月17日  
会場所 : 小山記念病院  
講演題 : 放射線治療入門 ～最新のトピックスの踏まえて～  
講演者 : 川上 浩幸

### 『その他』

千葉県がんセンター 放射線治療品質保証部会 外部委員  
日付 : 2013年5月29日  
会場所 : 千葉県がんセンター  
講演題名 : 平成25年度第1回 放射線治療品質保証部会  
氏名 : 川上 浩幸

千葉県がんセンター 放射線治療品質保証部会 外部委員  
日付 : 2013年7月24日  
会場所 : 千葉県がんセンター  
講演題名 : 平成25年度第2回 放射線治療品質保証部会  
氏名 : 川上 浩幸

千葉県がんセンター 放射線治療品質保証部会 外部委員  
日付 : 2013年10月30日  
会場所 : 千葉県がんセンター  
講演題名 : 平成25年度第3回 放射線治療品質保証部会  
氏名 : 川上 浩幸

千葉県がんセンター 放射線治療品質保証部会 外部委員  
日付 : 2014年1月31日  
会場所 : 千葉県がんセンター  
講演題名 : 平成25年度第4回 放射線治療品質保証部会  
氏名 : 川上 浩幸



## 【病理科】

### 『講 義』

講 義 名 : CPC 聖隷横浜  
開 催 日 : 2013年9月17日  
場 所 : 聖隷横浜病院  
演 題 : 高度の急性肺水腫を来した両房拡張症  
演 者 : 河上 牧夫

講 義 名 : CPC 聖隷横浜  
開 催 日 : 2013年10月15日  
場 所 : 聖隷横浜病院  
演 題 : 原発不明後腹膜腫瘍 (副腎皮質癌)  
演 者 : 河上 牧夫

講 義 名 : CPC 聖隷佐倉市民病院  
開 催 日 : 2013年12月16日  
場 所 : 聖隷佐倉市民病院  
演 題 : PTH産生肝細胞癌の一例  
演 者 : 河上 牧夫

講 義 名 : CPC 聖隷横浜  
開 催 日 : 2013年12月17日  
場 所 : 聖隷横浜病院  
演 題 : 肺炎治療中に全身水疱をきた老男子  
演 者 : 河上 牧夫

### 『論 文』

雑 誌 名 : 病理と臨床  
題 名 : 心の器官化とその形態動向から観た心筋症  
著 者 : 河上 牧夫  
卷、ページ、年 : vol. 31 No. 4、43-443、2013

雑 誌 名 : 病理と臨床  
題 名 : 肝臓-組織復構による正常構造と病的変容観察  
著 者 : 河上 牧夫、林 博隆  
卷、ページ、年 : vol. 31 No. 6、673-681、2013

雑 誌 名 : 第18回肝血流動態イメージ研究会記録集  
題 名 : 小葉構造の循環特性とその病的変容の基本形  
著 者 : 河上 牧夫、黒川 香  
卷、ページ、年 : vol. 1、36-42、2013

## 【放射線科】

### 『論文』

- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 高分解能CT検査で計測した腫瘍の充実性成分の大きさを用いて臨床的病期 I Aの肺腺癌の病理学的悪性度や予後を推定することの意義について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 140、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 冠状動脈の奇形について-2管球搭載型CTを用いたCT血管造影による冠動脈の描出
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 286、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 股関節の潜在骨折の診断におけるT1強調冠状断MRIの価値について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 412、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: コンピューターの三次元画像を用いた微小血管減圧手術の仮想手術シミュレーションについて
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 604、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: タレント胸部ステントグラフトシステムを用いた合併症のある急性B型大動脈解離に対する血管内手術後の中長期的転帰について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 698、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 結節性硬化症に随伴して見られる上衣下巨細胞性星細胞腫に対するエベロリムスの有効性と安全性について-多施設による無作為なプラセボ対照第三相試験
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 786、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 急性ドゥベイキー I 型解離において近位側への直達手術に加え遠位側に対し逆行性血管内手術を行うハイブリッド手術-通常の手術法と比べて優れた結果の得られた術式について
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 924、2013
- 雑誌  
雑題  
名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外外国文献紹介: 2型糖尿病患者の脳皮質の微細構造の異常と認識機能について-拡散テンソル画像を用いた研究
- 著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 1081、2013

雑誌  
題名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 髄膜腫手術時のICG静注蛍光血管造影による静脈洞や腫瘍位置、柔膜からの血流の同定について  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 1176、2013

雑誌  
題名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 放射線画像を用いた小児および青年期の股関節疾患に関わる臼蓋後壁の骨化についての研究  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 1385、2013

雑誌  
題名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 巨大下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻的手術について  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 1714、2013

雑誌  
題名 : 臨床放射線 (金原出版)  
名 : 外国文献紹介: 股関節に変形が残った状態で治癒したレッグ・カルヴェ・ペルテス病にMRI画像上よくみられる寛骨臼唇や関節軟骨の異常所見について  
著者 : 瀬戸一彦  
巻、ページ、年 : Vol. 58、p. 1891、2013